

サービス利用マニュアル

統計／初期

目次

1.	基本事項	2
	ファイルのフォーマット	2
	入力規則 <抽出ヘッダレコード>	3
	入力規則 <抽出条件レコード>	3
2.	抽出条件レコード<統計／初期編>	5
	設定可能な抽出条件	5
	ファイル作成の方法	5
	<よくある間違い>	11
3.	提供依頼からデータ取得までの流れ	12
	データ提供までの流れ	12
	<よくあるエラー>	14
4.	抽出結果のダウンロード	15
	ダウンロード方法	15
5.	ダウンロードファイルの復号	16
	復号化ツールの利用条件	16
	復号化ツールの使用方法	16
	<よくある質問>	20

1. 基本事項

自動車検査登録情報提供サービスの検索用ファイルの基本事項は以下の通りです。

ファイルのフォーマット

ファイル形式 : CSV 等のテキスト形式で作成 ※ただし、提供時のフォーマットは CSV 形式のみ

フォーマット : 表 1 を参照

構成 : 抽出ヘッダレコード + 抽出条件レコード (図 1 参照)

表 1. フォーマット

項番	項目	説明
1	項目区切り	コンマ (,) 区切りとする
2	項目区切りの設定	・項目に対して値が存在する場合は、値 + 項目区切りを設定する ・項目に対して値が存在しない場合は、値を設定せず項目区切りを設定する 例 1) 項目 ABCDE に対し、全て値が存在する場合 A,B,C,D,E 例 2) 項目 ABCDE に対し、AD にしか値が存在しない場合 A,,,D,

図 1. 構成

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	USER000001	5	抽出ヘッダレコード					
2	尾張小牧 5 0 0 あ 2 3 4 5	417654321						
3	袖ヶ浦 5 0 0 さ 2 3 4 5	KR40-000123	抽出条件レコード					
4	品川 1 2 た 5 6	000123						
5	品川 5 0 0 あ 2 3 4 5	7654321						
6	品川 1 2 あ 4 5 6	KR40-001234						
7								

入力規則 <抽出ヘッダレコード>

ファイルのヘッダレコード（1 行目）は必ず設定が必要です。

ヘッダレコードにはユーザ ID と抽出条件数を入力します。（表 2・図 2 を参照）

表 2. 抽出ヘッダレコード

項番	項目名	文字区分	桁数	入力箇所	備考
1	ユーザ ID	半角	10	A1 セル	例：USER000001
2	抽出条件数		～8	B1 セル	指定する抽出条件数を設定（最大 8 桁）

図 2. 抽出ヘッダレコード

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	USER000001	12345						
2								
3								

入力規則 <抽出条件レコード>

ファイルの 2 行目以降を「抽出条件レコード」といいます。

情報提供サービスの種類によってフォーマットが決まっています。

① 自動車登録番号

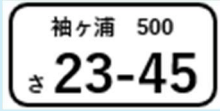
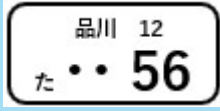
自動車登録番号は**全角 12 文字**で形成されています。

地名表示、分類番号、一連番号がそれぞれの**規定の文字数に満たない場合には、全角スペースを挿入**して文字数を合わせます。（図 3・表 3 を参照）

図 3. 自動車登録番号



表 3. 自動車登録番号の入力実例

パターン	ナンバープレート	実際の入力内容 ※△は全角スペース
例 1		尾張小牧 5 0 0 あ 2 3 4 5
例 2		袖ヶ浦△ 5 0 0 さ 2 3 4 5
例 3		品川△△ 1 2 △ た△△ 5 6

* 地名表示は完全一致検索です。特に「袖ヶ浦」の「ヶ」は小文字以外エラーとなりますのでご注意ください

② 車台番号

車台番号はハイフンを含め**全て半角**となります。

車台番号のみで抽出する場合は全桁完全一致が必要ですが、登録番号 + 車台番号での検索の場合は下 7 桁のみでも検索可能です。(表 4 を参照)

表 4. 車台番号の入力実例

種類	車検証の表記	抽出条件別の実際の入力内容	
		車台番号のみ	登録番号 + 車台番号
職権打刻以外の場合	KR40-000123	KR40-000123	-000123
職権打刻の場合	東 [41] 7654321 東	417654321	7654321

2. 抽出条件レコード＜統計／初期編＞

ここでは統計／初期の抽出条件レコードのフォーマットについて説明します。

※情報提供サービスの種類によってフォーマットが異なります

設定可能な抽出条件

- (1) 自動車登録番号と車台番号の組み合わせ
- (2) 自動車登録番号のみ
- (3) 車台番号のみ
- (4) 所有者コード
- (5) 所有者氏名及び所有者住所コード（具体名）

※ 1 ファイルで指定できる抽出条件数は最大 20 万件まで

※ 提供項目に個人情報が含まれない場合は（2）または（3）の抽出条件での検索が可能

ファイル作成の方法

1. 抽出条件に合わせたフォーマットで csv ファイルを作成します。

表 5. ファイル作成時の入力ルール

項番	項目名	文字 区分	桁数	入力箇所	備考 ※△はスペース
1	ユーザ ID	半角	10	A1 セル	例：USER000001
2	抽出条件数		～8	B1 セル	指定する抽出条件数を設定
3	更新指示フラグ	半角	1	A2 セル以降の A 列	1
4	自動車登録番号	全角	12	B2 セル以降の B 列	例：品川△△ 1 2 △た△△ 5 6
5	車台番号	半角	全桁又は 7 桁以上 ※表 4 参照	B2 セル以降の B 列 又は C 列	例：KR40-000123 又は-000123
6	所有者コード	半角	5	B2 セル以降の B 列	例：12345
7	所有者氏名	全角	～84	B2 セル以降の B 列	例：●●リース株式会社
8	所有者住所コード	半角	12	C2 セル以降の C 列	例：123456789000
9	丁目／番地	全角	～41	D2 セル以降の D 列	例：1 丁目 1 - 1
10	所有者住所具体名	全角	～260	E2 セル以降の E 列	例：東京都●●区●● 1 丁目 1 - 1

※自動車登録番号と車台番号の入力規則は、P3 の「入力規則＜抽出条件レコード＞」の①と②を参照

(1) 自動車登録番号と車台番号の組み合わせ

ファイルの1行目はヘッダレコード、2行目以降に抽出条件レコードを入力します。(表5の項番1~5、P6図4を参照)

※テキスト形式で展開した際に、車台番号の後ろにコンマ(,)が4つ付加されるように作成します

図4. 自動車登録番号と車台番号の組み合わせサンプル

	A	B	E	F	G	H
1	USER000001	5			1	
2	1 尾張小牧	5 0 0 あ 2 3 4 5	417654321			
3	1 袖ヶ浦	5 0 0 さ 2 3 4 5	KR40-001234			
4	1 品川	1 2 た 5 6	000123			
5	1 品川	5 0 0 あ 2 3 4 5	6543210			
6	1 品川	1 2 あ 4 5 6	KR40-012345			

※コンマを4つ付加するために、1行目のG列に文字を入力する

(2) 自動車登録番号のみ

ファイルの1行目はヘッダレコード、2行目以降に抽出条件レコードを入力します。(P5表5の項番1~4、図5を参照)

※テキスト形式で展開した際に、自動車登録番号の後ろにコンマ(,)が5つ付加されるように作成します

図5. 自動車登録番号のみサンプル

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	USER000001	5					1	
2	1 尾張小牧	5 0 0 あ 2 3 4 5						
3	1 袖ヶ浦	5 0 0 さ 2 3 4 5						
4	1 品川	1 2 た 5 6						
5	1 品川	5 0 0 あ 2 3 4 5						
6	1 品川	1 2 あ 4 5 6						

※コンマを5つ付加するために、1行目のG列に文字を入力する

(3) 車台番号のみ

ファイルの1行目はヘッダレコード、2行目以降に抽出条件レコードを入力します。(P5表5の項番1~3・5、図6を参照)

※テキスト形式で展開した際に、自動車登録番号の後ろにコンマ(,)が4つ付加されるように作成します

図6. 車台番号のみサンプル

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	USER000001	5				1		
2	1	417654321						
3	1	KR40-001234						
4	1	000123						
5	1	6543210						
6	1	KR40-012345						

※コンマを4つ付加するために、1行目のF列に文字を入力する

(4) 所有者コード

ファイルの1行目は **ヘッダレコード**、2行目以降に **抽出条件レコード** を入力します。(P5 表5の項番1~3・6、図7を参照) ※コンマ付加無し

図7. 所有者コードサンプル

	A	B	C	D	E	F
1	USER000001	5				
2		1 12345				
3		1 23456				
4		1 34567				
5		1 45678				
6		1 56789				

(5) 所有者氏名及び所有者住所コード

ファイルの1行目は **ヘッダレコード**、2行目以降に **抽出条件レコード** を入力します。(表5の項番1~3・7~9、図8を参照)

※テキスト形式で展開した際に、丁目／番地の後ろに **コンマ (,) が1つ付加** されるように作成します

図8. 所有者氏名及び所有者住所コードサンプル

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	USER000001	5			1			
2		1 ●●リース株式会社	123456789000	1丁目1-1				
3		1 ●●リース 株式会社	123456789000	1丁目1-1				
4		1 株式会社■●リース	234567891000	2丁目1-1				
5		1 株式会社 ■●リース	234567891000	2丁目1-1				
6		1 株式会社●■リース	123456789000	1丁目1-1				

※コンマを1つ付加するために、1行目の **E列** に文字を入力する

(6) 所有者氏名及び所有者住所具体名

ファイルの1行目は **ヘッダレコード**、2行目以降に **抽出条件レコード** を入力します。(表5の項番1~3・7・10、図9を参照) ※コンマ付加無し

図9. 所有者氏名及び所有者住所具体名サンプル

	A	B	C	D	E
1	USER000001	5			
2		1 ●●リース株式会社			x x 県 x x 市 x x 1 丁目 1 - 1
3		1 ●●リース 株式会社			x x 県 x x 市 x x 1 丁目 1 - 1
4		1 株式会社■●リース			x x 県 x x 市 x x 2 丁目 1 - 1
5		1 株式会社 ■●リース			x x 県 x x 市 x x 2 丁目 1 - 1
6		1 株式会社●■リース			x x 県 x x 市 x x 1 丁目 1 - 1

(7) 所有者氏名と所有者住所コード又は所有者住所具体名の組み合わせ

ファイルの1行目は「ヘッダレコード」、2行目以降に「抽出条件レコード」を入力します。(表5の項番1~3・7~10、図10を参照) ※コンマ付加無し

図10. 所有者氏名と所有者住所コード又は所有者住所具体名の組み合わせサンプル

	A	B	C	D	E	F
1	USER000001	6				
2	1	●●リース株式会社			x x 県 x x 市 x x 1 丁目 1 - 1	
3	1	●●リース 株式会社	空欄		x x 県 x x 市 x x 1 丁目 1 - 1	
4	1	●●リース株式会社	123456789000	1 丁目 1 - 1		
5	1	●●リース 株式会社	123456789000	1 丁目 1 - 1		
6	1	株式会社●●リース	空欄		x x 県 x x 市 x x 1 丁目 1 - 1	
7	1	株式会社●●リース	123456789000	1 丁目 1 - 1		
8						

*** 注意 ***

★所有者氏名と所有者住所具体名は自動車検査証に印字された所有者名や住所表記と同一でないと抽出されません（一般的には「2丁目4-5」のような表記）

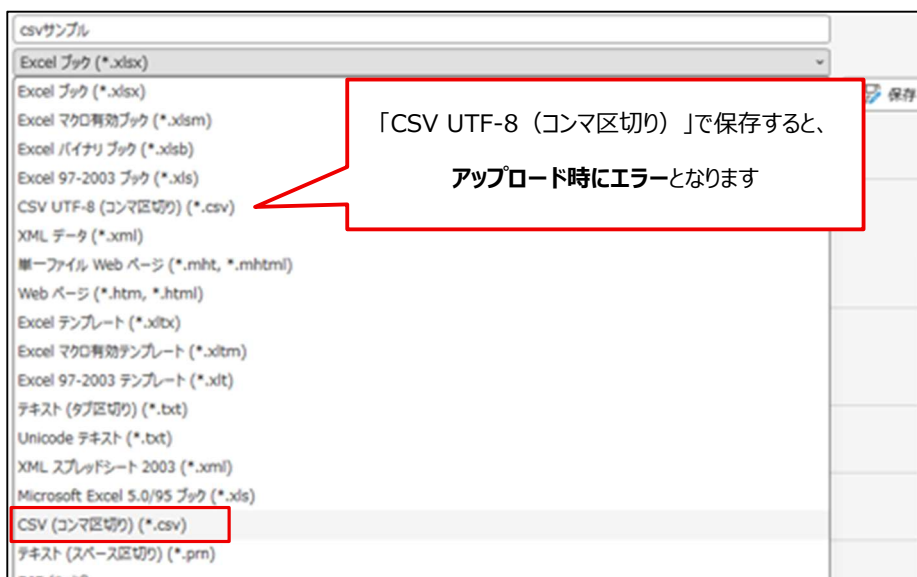
★車検証の漢字文字水準と自動車検査登録情報提供サービスで取り扱う漢字文字水準は異なるため、車検証に記載の文字をそのまま検索用ファイルに利用しても抽出されないことがあります。

（代替文字は第1・第2水準文字が利用されますが、決まったルールはありません）

例：車検証上の表記 → 岩崎 自動車検査登録情報上の表記 → 岩崎

この場合、「岩崎」では抽出されません

2. 作成したリストは「csv（コンマ区切り）」で保存します。



3. テキスト形式で展開して、抽出条件ごとの規定通りコンマが付いていることを確認し、1 行目に入力したコンマ付加用の文字とコンマを削除します（図 7 を参照）

<テキスト形式での展開方法>

- ① 保存した csv のアイコン上で右クリックし、「プログラムから開く」を選択します
- ② 「メモ帳」などのテキストエディターを選択して開きます



図 7. テキスト形式で展開した場合のサンプル ※緑マーカー部分は削除対象

(1) 自動車登録番号と車台番号の組み合わせ

USER000001,5,,,,,	削除	
1,尾張小牧 5 0 0 あ 2 3 4 5 ,417654321,,,,,		【確認ポイント】 ・コンマ区切りとなっていること ・車台番号の後ろにコンマが 4 つ付加されていること
1,袖ヶ浦 5 0 0 さ 2 3 4 5 ,KR40-001234,,,,,		
1,品川 1 2 た 5 6 ,000123,,,,,		
1,品川 5 0 0 あ 2 3 4 5 ,6543210,,,,,		
1,品川 1 2 あ 4 5 6 ,KR40-012345,,,,,		

(2) 自動車登録番号のみ

USER000001,5,,,,,	削除	
1,尾張小牧 5 0 0 あ 2 3 4 5 ,,,,,,		【確認ポイント】 ・コンマ区切りとなっていること ・登録番号の後ろにコンマが 5 つ付加されていること
1,袖ヶ浦 5 0 0 さ 2 3 4 5 ,,,,,,		
1,品川 1 2 た 5 6 ,,,,,,		
1,品川 5 0 0 あ 2 3 4 5 ,,,,,,		
1,品川 1 2 あ 4 5 6 ,,,,,,		

(3) 車台番号のみ

USER000001,5,,,,,	削除	
1,417654321,,,,,		【確認ポイント】 ・コンマ区切りとなっていること ・車台番号の後ろにコンマが 4 つ付加されていること
1,KR40-001234,,,,,		
1,000123,,,,,		
1,6543210,,,,,		
1,KR40-012345,,,,,		

(4) 所有者コード

USER000001,5 1,12345 1,23456 1,34567 1,45678 1,56789	削除	【確認ポイント】 ・コンマ区切りとなっていること
---	----	-----------------------------

(5) 所有者氏名及び所有者住所コード

USER000001,5 1,●●リース株式会社,123456789000,1丁目1-1 1,●●リース株式会社,123456789000,1丁目1-1 1,株式会社●●リース,234567891000,2丁目1-1 1,株式会社●●リース,234567891000,2丁目1-1 1,株式会社●●リース,123456789000,1丁目1-1	削除	【確認ポイント】 ・コンマ区切りとなっていること ・丁目／番地の後ろにコンマが1つ付加されていること
---	----	--

(6) 所有者氏名及び所有者住所具体名

USER000001,5 1,●●リース株式会社,,,××県××市××1丁目1-1 1,●●リース株式会社,,,××県××市××1丁目1-1 1,株式会社●●リース,,,××県××市××1丁目1-1 1,株式会社●●リース,,,××県××市××1丁目1-1 1,株式会社●●リース,,,××県××市××1丁目1-1	削除	【確認ポイント】 ・コンマ区切りとなっていること ・空欄部分に入力がないこと
--	----	--

(7) 所有者氏名と所有者住所コード又は所有者住所具体名の組み合わせ

USER000001,6 1,●●リース株式会社,,,××県××市××1丁目1-1 1,●●リース株式会社,,,××県××市××1丁目1-1 1,●●リース株式会社,123456789000,1丁目1-1 1,●●リース株式会社,123456789000,1丁目1-1 1,株式会社●●リース,,,××県××市××1丁目1-1 1,株式会社●●リース,123456789000,1丁目1-1	削除	【確認ポイント】 ・コンマ区切りとなっていること ・空欄部分に入力がないこと ・所有者名+住所コードの場合は丁目／番地の後ろにコンマが1つ付加されていること
---	----	---

※「UTF-8 (BOM 付き)」はアップロード時にエラーとなります

USER000001,5,,,,,1					
1,尾張小牧500あ2345,417854321,,,,					
1,袖ヶ浦500さ2345,KR40-001234,,,,					
1,品川12た56,000123,,,,					
1,品川500あ2345,6543210,,,,					
1,品川12あ456,KR40-012345,,,,					
行 7、列 1	164 文字	テキスト	100%	Windows (CRLF)	UTF-8 (BOM 付き)

<よくある間違い>

CSV 作成時、コンマ付与のためセルに直接「,」を入力する

【結果】

アップロード時にエラーとなり、リストの取り込みができません。

※抽出作業時に取り込みエラーとなった場合、依頼者様へファイルの修正をお願いしております。

修正の依頼があった場合には、P5「ファイル作成の方法」を参考に修正をお願いいたします。

【実際の例】

コンマ 4 つを直接入力した場合

	A	B	C	D	E	F	G
1	USER000001	5					
2	1 尾張小牧	5 0 0 あ 2 3 4 5	417654321	,,,,,			
3	1 袖ヶ浦	5 0 0 さ 2 3 4 5	KR40-001234	,,,,,			
4	1 品川	1 2 た 5 6	000123	,	,	,	,
5	1 品川	5 0 0 あ 2 3 4 5	6543210				
6	1 品川	1 2 あ 4 5 6	KR40-012345				
7							

テキスト形式で展開して確認すると、「,」で囲まれた状態となっている ※アップロード時にエラーとなります

```

USER000001,5,,,,,
1,尾張小牧 5 0 0 あ 2 3 4 5,417654321,",,,,",,,,
1,袖ヶ浦 5 0 0 さ 2 3 4 5,"KR40-001234,,,,",,,,
1,品川 1 2 た 5 6,123,"","","",""
1,品川 5 0 0 あ 2 3 4 5,6543210,,,,
1,品川 1 2 あ 4 5 6,KR40-012345,,,,
  
```


2. 自検協にて抽出を行い、抽出条件と抽出件数をメールにてご連絡します。

ご依頼頂きました3月末時点の統計／初期の抽出が完了致しましたのでご連絡申し上げます。

抽出結果件数 ●●件

抽出条件

設定した抽出条件

お忙しいところ恐縮ですが抽出条件に問題がないかご確認下さいますようお願い申し上げます。
こちらの件数でよろしければダウンロードできる状態に設定させていただきます。
(設定と同時に件数分の利用料の課金が確定します。)ので、本メールに返信する形でご連絡ください。

よろしくお願い致します。

3. メールに記載の抽出条件と抽出件数を確認し、問題無ければ自検協からのメールに引用返信でダウンロード設定を依頼します。
4. 自検協にてダウンロード設定を行い、ダウンロード設定が完了したことをメールにてご連絡します。
※ダウンロード設定と同時に件数が確定され課金が発生します
5. 自検協からのダウンロード設定完了メールが届いたら AIRIS にログインし、「ダウンロード」から該当のファイルをダウンロードします。
※ダウンロードの手順は「4.抽出結果のダウンロード」を参照
6. ダウンロードした検索結果ファイルを復号します
※復号の手順は「5.ダウンロードファイルの復号」を参照

<よくあるエラー>

自検協での抽出作業時に取り込みエラーとなった場合、依頼者様へファイルの修正をお願いしております。
以下はよくあるエラーですので、修正の依頼があった場合には【解決法】を参考に修正をお願いいたします。

エラーメッセージ：「ヘッダレコードの情報に誤りがあります。」

【原因】

- ・アップロードファイルの 1 行目のヘッダレコードに誤りがある場合（ヘッダレコード未設定など）
- ・文字エンコードの誤り（UTF-8(BOM 付き)になっているなど）

【解決法】

- ・アップロードファイルの 1 行目のヘッダレコードに誤りがないか確認し、必要に応じて修正
- ・リストを「csv（コンマ区切り）」で再保存し、テキストツールで開いて文字エンコードを確認する（P9 図 7 参照）

エラーメッセージ：「以下の条件レコードに、誤りがあります。● 件目 フォーマットエラー」

【原因】

- ・アップロードファイルの 2 行目以降のフォーマットが異なっている場合（使用できない文字が使われているなど）
- ・実在しない登録番号の場合（実在しない地名表示など）

【解決法】

- ・抽出条件に合わせたフォーマットでファイルを作成する（P5「ファイル作成の方法」参照）
- ※メモ帳などのテキストエディターで開いてコンマ位置や桁数などを確認してください（P9 図 7 参照）
- ・地名表示が完全一致しているか確認する（袖ヶ浦が袖ケ浦となっていないかなど）

4. 抽出結果のダウンロード

ダウンロードで提供を受けている場合は、AIRIS にログインし「ダウンロード」から対象のファイルをダウンロードしてください。

※ **ダウンロードが可能なのは提供から 10 日間のみです**

※ ダウンロードしたファイルは暗号化されていますので、**専用の復号化ツールでの復号が必要です**

ダウンロード方法

1. AIRIS にログインし「ダウンロード」を開きます



The screenshot shows the AIRIS (Automobile Inspection & Registration Information Service) login page. The left sidebar contains several menu items: 利用履歴 (Usage History), ユーザー管理メニュー (User Management Menu), 閲覧 (View), **ダウンロード (Download)** (highlighted with a red box), 情報提供 (複数件検索) (Information Provision (Multiple Search)), and 仕様書等ダウンロード (Download Specifications, etc.). The main content area shows the 'ユーザー個別メニュー' (User Individual Menu) with a '利用履歴' (Usage History) section. The text in this section explains that users can confirm their usage history and re-view results within a certain period. It also states that the system's history reference period is as follows: for '提供済' (Provided) status, from the date of provision to 90 days later; for '閲覧' (View), multiple searches, journals, and statistics, from the date of provision to 450 days later.

2. ダウンロードしたいファイルを選択し「ダウンロード」ボタンを押下 →ダウンロード完了

※ダウンロードしたデータの項目名を確認したい場合は、「項目名」ボタン押下で項目名のダウンロード可能



The screenshot shows the 'ダウンロード' (Download) page. It contains a table titled 'ダウンロード対象ファイル一覧 (14件中 1~14件表示)' (List of Downloadable Files (Showing 1~14 of 14 items)). The table has columns: 利用年月日 (Usage Date), システム利用ID (System Usage ID), 提供サービス (Provided Service), 状態 (Status), 分割番号 (Division Number), ダウンロード [サイズ] (Download [Size]), ダウンロード状態 (Download Status), ダウンロード期限 (Download Deadline), and 項目名ダウンロード (Item Name Download). The table lists four items. The second item, '統計/初期' (Statistics/Initial), is highlighted with a red box, and its '項目名' (Item Name) button is also highlighted with a red box. The text above the table explains that users can download files for '複数件検索' (Multiple Search), 'ジャーナル' (Journals), and '統計/初期' (Statistics/Initial). It also notes that the download deadline for these files is 10 days from the date of provision.

利用年月日	システム利用ID	提供サービス	状態	分割番号	ダウンロード [サイズ]	ダウンロード状態	ダウンロード期限	項目名ダウンロード
2025/04/01	2025040105900001	ジャーナル XXXX_自社所有	抽出済	1	ダウンロード [10KB]	未ダウンロード	2025/04/12	
2025/04/01	2025040106900012	統計/初期	抽出済	1	ダウンロード [8KB]	未ダウンロード	2025/04/11	項目名
2025/04/01	2025040103900011	複数件検索	抽出済	1	ダウンロード [4KB]	未ダウンロード	2025/04/11	項目名
2025/04/01	2025040106900010	統計/初期	抽出済	1	ダウンロード [2KB]	ダウンロード済	2025/04/11	項目名

5. ダウンロードファイルの復号

AIRIS でダウンロードした提供情報のファイルは暗号化されており、復号するためには自検協が提供している「専用の復号化ツール」が必要です。（一般的な解凍ツールでは復号できません）

復号化ツールの利用条件

下記のソフトウェアが正しくインストールされた端末をご利用ください。

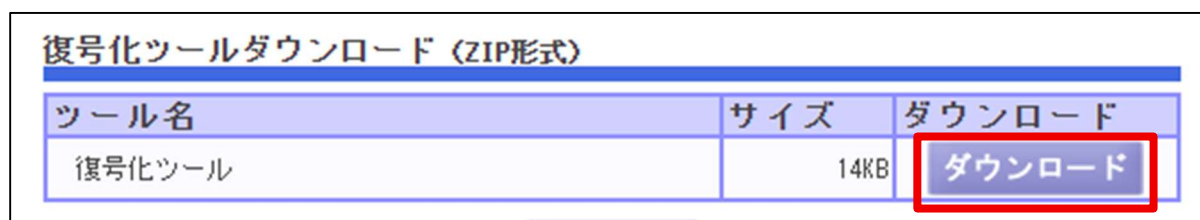
適応ソフトウェア：Microsoft.NET Framework 4.8 以上

復号化ツールの使用方法

1. AIRIS にログインし、「仕様書等ダウンロード」を開きます



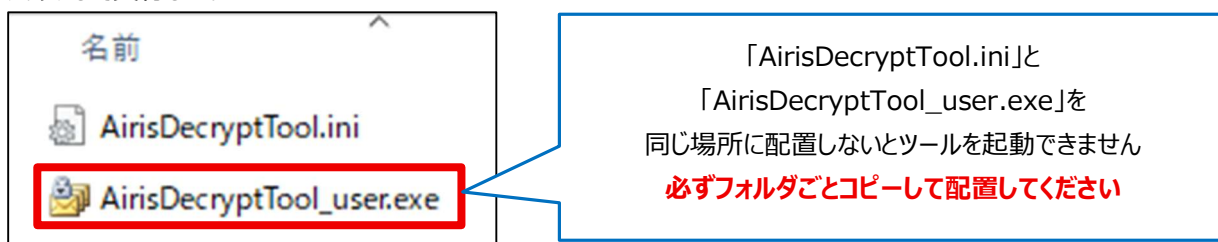
2. 復号化ツールをダウンロードします



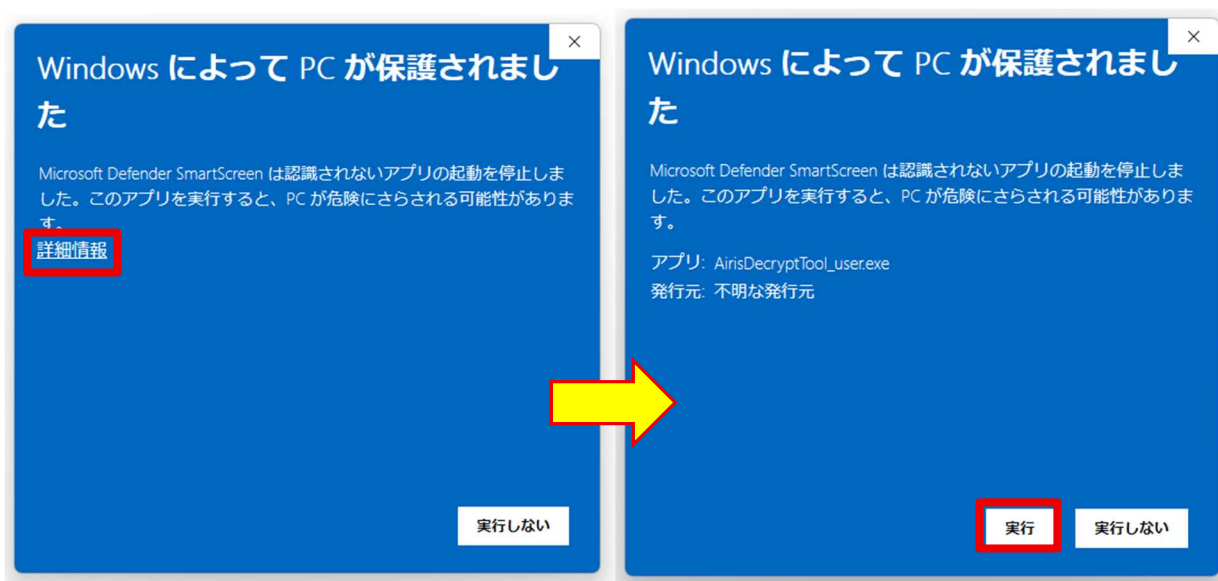
3. ダウンロードした「AirisDecryptToolForUser.zip」を解凍し、「AirisDecryptToolForUser」フォルダを**フォルダごとコピーして**、PC の任意の場所（デスクトップなどの分かりやすい場所）に貼り付けます



4. 任意の場所に貼り付けた「AirisDecryptToolForUser」フォルダを開き、「AirisDecryptTool_user.exe」をダブルクリックして実行します



※「AirisDecryptTool_user.exe」をダブルクリックした時、下記のように表示された場合は「詳細情報」をクリックすると「実行」ボタンが表示されますので、実行をクリックしてください



5. 実行後に表示される以下の画面に必要な情報を入力し、「復号化処理実行」を押下します

AirisDecryptTool

① 暗号化キー

② 復号化対象指定

☒ 復号化ファイル格納ディレクトリ

ディレクトリ参照

☐ 復号化ファイル

ファイル参照

③ ☐ 出力先ディレクトリ指定

ディレクトリ参照

処理結果

④ 復号化処理実行

※ディレクトリ = フォルダ

① 暗号化キー

サービス利用開始時に送付した「利用開始通知書」に記載の初期パスワードです

※パスワード変更後も「初期パスワード＝暗号化キー」です

利用開始日 (西暦) 年 月 日

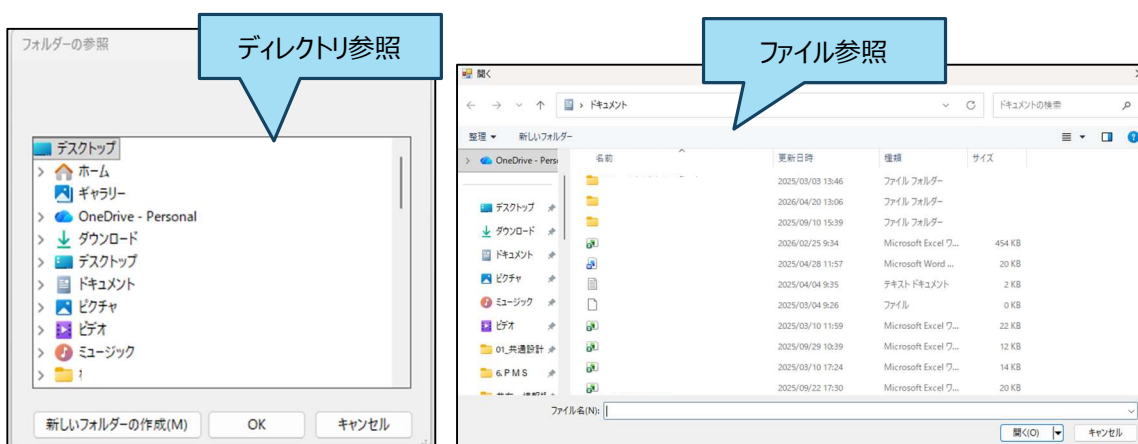
ユーザーID 000001 パスワード キーワード

② 復号化対象指定

ディレクトリ単位またはファイル単位で復号化の対象を指定します（指定する方法のラジオボタンを選択します）

ディレクトリ参照 → 復号化対象のファイルがあるフォルダを指定して「OK」を押下

ファイル参照 → 復号化対象のファイルを指定して「開く」を押下



③ 出力先ディレクトリ指定（✓をつける）

復号が完了したファイルを出力するフォルダを指定します

※指定しない場合は復号化対象ファイルが格納されているフォルダに出力されます

④ 復号化処理実行

クリックすると復号化処理が実行されます

6. 確認のダイアログが表示されたら「はい」をクリックします



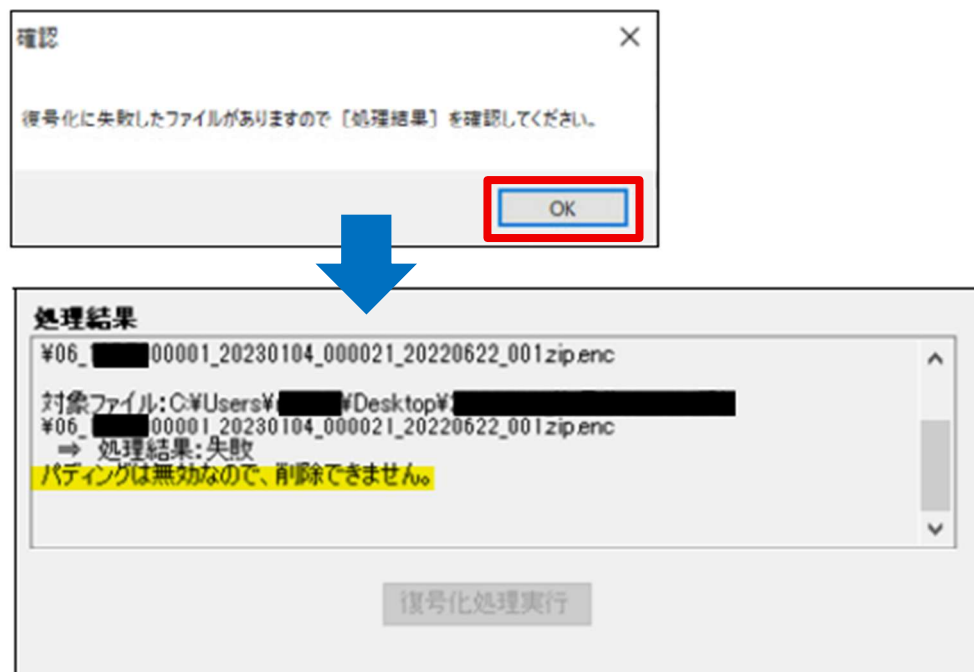
7. 復号化処理が実行され、完了するとダイアログが表示されるので「OK」をクリックします



8. 「5.」の③で指定したディレクトリに復号化されたファイルが出力されます
(出力先ディレクトリ指定をしなかった場合は、復号化対象ファイルが格納されているディレクトリに出力されます)

<エラーが出た場合>

復号化に失敗したファイルがある場合は、表示されたダイアログの「OK」をクリックして処理結果を確認します



※ 「パディングは無効なので、削除できません。」と表示されている場合は暗号化キーの入力が誤っている可能性があります。暗号化キーを確認して再度、暗号化処理を実行してください。

<よくある質問>

手順通りに復号化の処理を行っているにもかかわらず、復号後のファイルが文字化けしている。

（アイコンが白紙のアイコンになっている）

【原因】

復号対象ファイルを複数回ダウンロードしたことによりファイル名の末尾に「（１）」等が付加され、拡張子が正しく認識されていない

【解決法】

復号後のファイルのファイル名に付加されているカッコ書きの数字（（１）など）を削除してください

【実際の例】

